90年分の感謝と技術革新で輝く100周年を目指します

このたび株式会社カワタは1935年（昭和10年）9月10日、当時18歳だった川田正煥（まさてる）氏が大阪市西成区に川田工作所を立ち上げてから90周年を迎えることができました。これまでも、これからも、みなさまとともに、歩み続けてまいります。

おかげさまで弊社は創業90周年を迎えることができました。この節目を迎えるにあたり、長きにわたりご支援・ご尽力いただいたお取引先様をはじめ、創業家の方々、従業員と諸先輩方、地域社会の皆様、そして株主の皆様に、心からの感謝を申し上げます。

弊社はプラスチック加工機器メーカーとして、人手に頼っていた成形加工工程を自動化し、生産性向上・コスト削減・安全性確保を可能にする機器を、これまで数多く現場へ提供してまいりました。

今後は既存市場や既存分野での販売拡大に加え、新規市場・成長分野での事業展開を強化してまいります。さらに、海外拠点との連携によるグローバル展開を加速させることで、お客様の多様なニーズにワールドワイドに対応してまいります。この取り組みこそが、次の100周年へ向けた確かな礎となると確信しております。

社員一同、90年分の恩に報いるべく、さらなる技術革新と品質向上に全力を注ぎます。これからも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社 カワタ 代表取締役社長 白石　亙

社 是

われわれは「三力」をもって生産に励み社運の伸展につくし企業を通じて社会の平和と繁栄に寄与せんことを期する

知 力　価値を生み出すのは知力である
全知をつくして方法を考え力強く実行しよう

努 力　一歩前進するにも努力がいる
苦難を克服し向上発展の道を一すじに進もう

協 力　ひとりの力には限界がある
みんな力を出しきり一つに結ぼう

弊社の社是である「三力」は、1959年10月、病床にあった川田正煥氏が、会社の将来のためには労使一体となって体制を整える必要性を考えたのが始まりです。当時は「知力」ではなく「体力」としていましたが、時代の変遷により1989年4月に「知力」となり、現在のかたちとなりました。

川田正煥氏は、「会社はあくまでも人材の集団であるから“協力”による共同作業がなければ何ごともできない。また、技術文明は日進月歩でありその技術向上には“努力”が必要である。そして、これら“協力”“努力”を可能にするのが“体力”である。」という考えをまとめて「三力」とし、社是として制定しました。制定から60年以上経った今でも、私たちは社是を大切に守り続けています。

経営理念

プラスチックをはじめとする粉粒体による製品製造現場において、省力化機器のスペシャリストとして、お客様のニーズにマッチした、品質の高い、他社の追随を許さないオンリーワン製品をお届けすることにより、社会に貢献する

1. 市場が求めるものを常に探求し、お客様に喜ばれる製品サービスを提供する
2. お客様が製造する消費財•生産財を通じて、世界の人々のより豊かで安全な暮らしに貢献する
3. 従業員の自主性と働きがいを重視し、会社を持続的に成長させる
4. 株主、取引先、地域社会の皆様から、「いい会社」と呼ばれる会社になる

弊社の経営理念は、経済のグローバル化や情報化社会が進み、製造業を取り巻く環境は大きく変わるなか、創業以来の精神を大切にして、しっかりと歩みを進めるために、現社長の白石　亙が2019年1月社長就任時に現在のものにしました。

プラスチック製品の多様化、新素材や新機能材料の開発、リサイクルや耐久性向上等、地球環境を意識した対応を行いつつ、お客様の製造現場における省力化に対応できるよう、現場第一主義を基本姿勢とし、創業以来培ってきた技術を基に、お客様の生産活動の改善につながる提案と、お客様に喜んでいただける製品・サービスを提供することにより、世界の人々のより豊かで安全な暮らしに貢献し、企業価値・株主価値を高めてまいります。

100周年への新たな取組み

全固体リチウムイオン電池にかかる技術開発

全固体リチウムイオン電池は、電極活物質に無機材料をコーティングする技術が実用化の課題のひとつとされており、弊社が開発した薄膜コーティング技術がNEDOの助成事業において一定の評価を得ました。

今後もコーティングプロセスとその装置開発を継続し、広範な実用化・量産化に向けて技術開発を推し進めてまいります。

食品、化粧品、化学、電池分野への展開

安全・衛生・精度が求められる食品・化粧品・化学・電池分野などの非プラスチック業界においても、当社装置の技術的な強みを活かせることから、積極展開をしてまいります。

スーパーミキサーやナノパージョンといった混合機をはじめ、定量供給装置のノンブリッジフィーダー、粉粒体輸送機のブロータンクなどが用いられます。

KAWATA　株式会社 カワタ　550-0011 大阪市西区阿波座1-15-15 TEL.06-6531-8211

本カタログの内容の無断転載・使用を禁じます。 Unauthorized reproduction or use of the contents of this catalog is prohibited.

おかげさまで 90th Since1935

KAWATA

カワタ90年の歩み

カワタ90年の歩み

株式会社カワタは、押出機の製造からスタートし、1960年代には射出・押出成形機周辺機器を製造する現在の事業内容となり、1990年代以降はグローバル化を推し進め、成形工場の自動化と省力化一筋に歩んでまいりました。

現在は、5つのコア技術（運ぶ、乾かす、計る、混ぜる、整える）をベースに、省力化・省人化、生産効率の向上をはじめ、社会インフラや地球環境にも貢献する事業展開をしております。

創業期 → **発展期** → **グローバル化** → おかげさまで 90th Since1935 → **100周年に向かって**

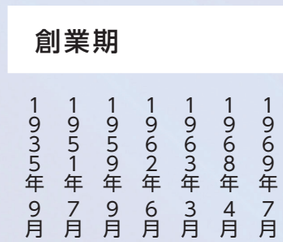
2035年 9月 創業100周年

中期経営戦略

1 新規市場成長分野への事業展開
2 既存市場既存分野での収益力向上
3 経営基盤の強化
4 資本収益性の向上

2025年 9月 創業90周年

2023年 7月 カワタテクニカルセンター設置（兵庫県三田市）
2022年 4月 東証市場再編によりスタンダード市場へ移行
2020年 2月 ベトナムにカワタマシナリーベトナムCO.,LTD.設立
2019年 1月 七代目社長：白石　亙
2018年 3月 東証一部に上場
2016年 11月 メキシコにカワタマシナリーメキシコS.A.DE C.V.設立
2016年 6月 監査等委員会設置会社に移行
2014年 6月 インドネシアにPT.カワタマーケティングインドネシア設立
2013年 6月 六代目社長：白井英徳
2013年 6月 東証二部に上場
2012年 4月 株式会社レイケンの全株式取得、子会社化
2011年 4月 インドネシアにPT.カワタインドネシア設立
2009年 4月 チャレンジCES策定（低コスト・省エネ・省スペース）、対応製品を発売
2008年 2月 ISO14001認証取得
2006年 6月 五代目社長：湯川直人
2005年 4月 エム・エルエンジニアリング株式会社の全株式取得、子会社化
2004年 12月 ジャスダック証券取引所に株式上場
2003年 1月 香港に川田機械香港有限公司設立
2000年 10月 東京営業所設置（東京都千代田区）のち移転し、現東京営業所に
2000年 2月 台湾に川田國際股份有限公司設立
1999年 6月 四代目社長：太田敏正
1999年 5月 ISO9001認証取得
1998年 4月 スウェーデンのラピッド社からプラスチック粉砕機の独占販売権を取得
1997年 7月 中国に川田機械製造（上海）有限公司設立
1996年 8月 タイにカワタタイランドCO.,LTD.設立
1993年 9月 マレーシアにカワタエンジMFG.SDN.BHD設立
1991年 12月 株式を店頭公開銘柄に登録
1991年 11月 高崎営業所設置（群馬県高崎市）のち移転・再編し、現北関東サービスに
1990年 1月 株式会社サーモテック設立（大阪市西区）
1989年 11月 シンガポールに現地法人を設立し、カワタパシフィックPTE.LTD.に
1989年 9月 アメリカにカワタU.S.A.INC.設立
1989年 6月 三代目社長：太田道之助
1989年 5月 関東営業所設置（埼玉県川口市）のち移転・再編し、現埼玉営業所に
1988年 12月 南関東営業所設置（神奈川県厚木市）
1985年 5月 広島出張所設置（広島市中区）のち改称・移転し、現広島営業所に
1985年 4月 仙台営業所設置（仙台市太白区）
1985年 3月 社名を「株式会社カワタ」に変更
1980年 1月 二代目社長：川田照廣
1975年 1月 静岡出張所設置（静岡県沼津市）のち改称し、現静岡営業所に
1975年 1月 本社移転（大阪市西区）
1974年 11月 福岡出張所設置（福岡市博多区）のち改称・移転し、現九州営業所に
1973年 9月 西ドイツのゾモス社グラフ博士とチャレンジャー（脱湿乾燥機）の技術提携
1972年 10月 名古屋営業所設置（名古屋市中村区）のち改称・移転し、現名古屋営業所に
1970年 1月 アメリカのコネア社とオートカラー（質量計量混合機）の技術提携
1969年 7月 大阪営業所設置（大阪市東区）のち、移転・再編し、現大阪営業所に
1968年 4月 三田工場設置（兵庫県三田市）
1963年 3月 東京営業所設置（東京都台東区）のち改称・移転・再編し、現東京工場に
1962年 6月 スーパーミキサー（高速流動混合機）の生産開始
1959年 9月 梅南工場設置（大阪市西成区）のち改称・移転・再編し、現大阪工場に
1951年 7月 法人化。「株式会社川田製作所」と呼称。初代社長：川田正煥（まさてる）氏が大阪市西成区に「川田工作所」を創業
1935年 9月



1950年頃の本社事務所

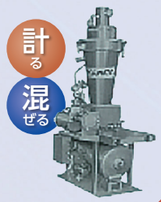
1970年頃の三田工場

1975年頃の本社

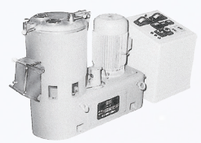
東京工場（1988年）

大阪工場（2012年）

カワタテクニカルセンター（2023年）



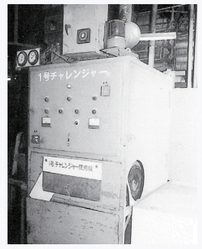
スーパーミキサー


1号機

現行機 SMV(G)-1000

各種粉粒体製造の混合・分散処理に適した研究・開発用の混合機です。 素材の種類や目的を熟知し、オリジナル設計された攪拌羽根を組み合わせ、高速回転させることで 理想に近い流動作用がおこります。これにより混合・分散・造粒・含浸・粉砕・乾燥・コーティング・表面処理にワイドな効果を得ることができます。

チャレンジャー


1号機

現行機 DFCseries

樹脂ペレットを乾燥させるための脱湿乾燥機です。特に、エンプラやスーパーエンプラなど、内部に水分を含みやすい樹脂の乾燥に適しており、湿度の高い環境でも低水分まで乾燥させることが可能です。